

播磨の8市8町を学ぶ

とく ほん

# はりま読本



播磨の8市8町を学ぶ

とく ほん

# はりま読本



# はじめに

私たちの住む播磨は、海や山、川などの

豊かな自然に恵まれた、とても住みやすい地域です。

古くから人々が集まり、暮らしを営んできたことにより、

長い歴史と文化が培われ、独自の産業が育まれてきました。

この本では、「自然」「城と城下町」「町並み」「食と産業」

「神社仏閣と祭り」「歴史」などのテーマにそって、

播磨8市8町のさまざまな事柄を紹介しています。

生まれ育った町や地域について知り、

好きになるのはとても大切なことです。

分からないことや難しいと思ったことがあれば、

友達と図書館で調べたり、

先生やお家の人に聞いたりしながら、

私たちのふるさと播磨について

楽しく学んでいきましょう。



この本では、播磨圏域連携中枢都市圏(P106)の8市8町  
(姫路市、相生市、加古川市、赤穂市、高砂市、加西市、  
宍粟市、たつの市、稲美町、播磨町、市川町、福崎町、神河町、  
太子町、上郡町、佐用町)について、詳しく紹介していきます。

# もくじ

2 はじめに

6 播磨ってどんなところ？

8 自然で見る播磨

8 海 10 森と山

12 滝と渓谷 14 川

15 高原 16 ため池・疏水

17 棚田 18 木と花

20 播磨の生物たち

自然で見る播磨



21 播磨の城と城下町

22 姫路城

32 龍野城

28 赤穂城

36 ぐるり陣屋跡めぐり

神社仏閣と祭り



播磨の城と城下町



歴史を感じる町並み



播磨の歴史



37 歴史を感じる町並み

38 網干 40 坂越

42 高砂町 44 北条

46 室津 48 辻川

50 平福 52 中村・粟賀町

54 播磨の四季

81 播磨の歴史

82 縄文・弥生時代

86 飛鳥・奈良・平安時代

90 鎌倉・室町時代

94 中世の城 96 江戸時代

98 明治・大正時代

102 播磨の日本遺産

84 古墳時代

88 播磨国風土記

92 戦国時代

100 昭和時代

106 未来へ向けて



55 食と産業

56 播磨海のもの山のもの

61 ご当地グルメ

62 メイドイン播磨

66 伝統工芸品

67 地場産業

68 温泉

食と産業



69 神社仏閣と祭り

70 播磨の寺・神社

78 祭り

116 市町情報

116 姫路市／相生市

118 高砂市／加西市

120 稲美町／播磨町

122 神河町／太子町

117 加古川市／赤穂市

119 宍粟市／たつの市

121 市川町／福崎町

123 上郡町／佐用町

111 ミュージアムガイド

# 播磨ってどんなところ？



## 播磨

### 西播磨

北部を山林地帯が占め、播磨灘に面する南部では農業・水産業・工業が発達。内陸部には播磨科学公園都市があります。



### 北播磨

日本列島の中央に位置する地域で、県下最大の河川加古川が中央部を流れ、流域には播州平野が広がっています。



### 中播磨

南部には播磨圏域の中核都市・姫路があり、産業、商業、工業、水産業が発達。中国山地を形成する北部は、農林業が盛んです。



### 東播磨

日本のものづくりを支える播磨臨海工業地帯の中央部。また多くのため池があり、水辺空間にも恵まれた地域です。

## 兵庫県の姿

面積は近畿最大、人口も近畿2位を誇り、近畿地方のけん引役となっています。

県庁所在地 神戸市

面積 8,400.94km<sup>2</sup>(2021年10月)

人口 5,465,002人(2020年国勢調査)

県花 ノジギク 県樹 クスノキ

県鳥 コウノトリ



日本の標準時子午線  
東経135度で明石市を通る



## 五国で成り立つ兵庫県

摂津、播磨、丹波、但馬、淡路の五つの国で成り立っている兵庫。それぞれの国が強い特色を持ち、「日本の縮図」ともいわれます。

3つの海に面し  
広大な面積を持つ兵庫県

兵庫県は日本列島のほぼ中央、近畿地方の最西部に位置します。面積は8,400.94km<sup>2</sup>で全国12位の広さです。北は日本海、南は瀬戸内海、太平洋に面しています。県のやや北寄りを買く中国山地を境に、瀬戸内側は温暖で降水量は少なく、日本海側はシベリアの季節風を受けて降雪量が多くなっています。また、日本の標準時を決める子午線(東経135度)が県の淡路島から明石市、西脇市を経て、豊岡市までを貫いています。

近畿地方と中国地方の接点となり、気候や地形が地域によって大きく異なる兵庫県は、古くは摂津、播磨、丹波、但馬、淡路の5つの国から成り立っていました。

## 歴史豊かな播磨地方

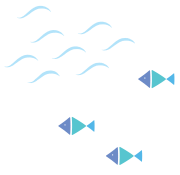
五国の中でも最も広い面積を持つのが播磨です。古く7世紀に成立した播磨国に当たり、明治維新の後、兵庫県に統合されるまで飾磨県であった地域のことをいいます。現在は兵庫県の南西部13市9町で構成され、その面積は県内の約4割を占めます。行政上、東播磨、北播磨、中播磨、西播磨の4つの地域に分けられています。

加古川、市川、夢前川、揖保川、千種川の5つの川が流れ、豊かな播州平野と播磨灘の持つ海の資源に恵まれた食の宝庫です。東西に向かう交通の要衝であったため早くから開け、姫路城をはじめとする国宝や歴史ある寺や神社などが数多く残ります。また各産業も盛んで、その経済的な豊かさは日本の近代化にも大きく貢献しました。



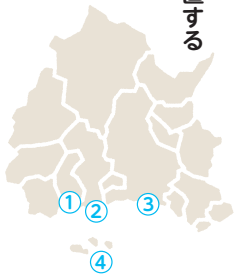
③  
しょうせきへき  
**小赤壁**  
姫路市

大きな岩や変わった形の岩がいたるところにあり、自然が作り出した雄大な岩壁がそびえる海岸です。



# 海

播磨圏域は、瀬戸内海の東側に位置する播磨灘に面しています。家島諸島をはじめとする島々と海岸線、岬など美しい景色と、豊富な海の幸に恵まれています。



④  
いえしま しょうとう  
**家島諸島**  
ひめじし 姫路市

姫路市の沖合にある大小40余りの島々を家島諸島といいます。古くから国生みの島「オノゴロ島」とも伝えられ、数々の遺跡が残っています。近年ではレジャーやリゾートでたくさんの方が訪れています。

**採石、海運、漁業の島**

家島諸島は石材を運ぶガット船の保有数や砕石量が全国トップクラス。良質の石材が豊富にあり、大消費地の阪神地域が近いことから、古くから採石業で栄えました。採石と海運を一緒に行うため、船の手入れをするドッグもたくさんあります。また、良港に恵まれていることから漁業も盛んで、県内有数の漁獲量を誇っています。



はりま 地域のさまざまな自然を紹介 / しょうがい  
**自然で見る播磨**

播磨には、豊かな海、雄大な山々、川や池があり、たくさんの生き物たちがいます。その一部を見ていきましょう。



①  
まんよう みさき  
**万葉の岬**  
あいおいし 相生市

万葉集にも詠われている瀬戸内海の景色を180度見渡すことができる、相生湾東の突端にある岬です。

②  
しんまいこはま  
**新舞子浜**  
たつの市

とのおさき 遠浅の海岸が広がり、はくさ 白砂と松林が調和した美しい景色が望める海岸です。



# ホホホと山



## 6 笠形山

かさ が た や ま  
いちかわちよう かみかわちよう  
市川町・神河町

はりまふじ かんさいひやくめいさん  
播磨富士とよばれ、関西百名山の一つに数えられます。山頂からは、  
たじま たんぼ しこく わがやま  
但馬・丹波の連山や瀬戸内海、また四国、和歌山も一望できます。

## 1 千町岩塊流

せんちよう がんかいりゅう  
しこく し  
宍粟市

岩の間にしみ込んだ水が凍って岩を割り、斜面を  
すべ ころ  
滑り落ちてできた西日本最大級の岩塊流です。



## 7 佐用の朝霧

あさぎり  
さようちよう  
佐用町

佐用町では、秋から冬の早朝に町全体が霧で覆われます。大撫山の山腹からは、夜明けの光で幻想的に色が変わる美しい霧の海を見ることができます。



## 3 七種山

ななくさやま  
ふくしまち  
福崎町

こうぼうだいし しゆぎよう  
弘法大師が修業したつなぎ岩などの奇岩があり、『播磨国風土記』にも記されています。



## 2 日光寺山

にっこう じさん  
ふくさきちよう  
福崎町

ばんしゅうへいや いえしましちよう  
播州平野や家島諸島の景色が望め、山頂の近くに日光寺があります。



## 9 高御位山

たかみくらやま  
かこくしやう こうさち  
加古川市・高砂市

播磨アルプスとよばれ、気軽に登れるルートから本格的な縦走登山まで楽しむことができます。



## 8 千ヶ峰

せんがみね  
かこくしやう  
神河町

かさがたやませんがみねけんりつしぜんこうえん  
笠形山千ヶ峰県立自然公園の一角に数えられ、多くの登山者が訪れています。



## 5 氷ノ山

ひょうのせん  
かこくしやう せいふし  
宍粟市・養父市

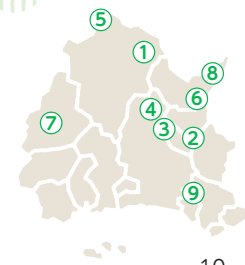
標高1500mに及ぶ県内一の高さから「兵庫の屋根」とも呼ばれています。



## 4 雪彦山

せつびごせん  
ひめじし  
姫路市

ほらがだけ ほとたてやま みつじやま  
洞ヶ岳、鉾立山、三辻山の三山の総称で、日本三彦山の一つ。



播磨圏域の北西部は山間部となり、一部は中国山地にも含まれています。山が育む森には生き物があふれ、豊かな生態系が築かれています。



④ 福知溪谷  
宍粟市

「関西自然に親しむ風景100選」に選ばれており、四季を通して景色を楽しむことができる溪谷です。



① 音水溪谷  
宍粟市

ブナ、ミズナラなどが群生し、新緑や紅葉が美しい溪谷です。「水源の森百選」に選ばれ、山頂付近には樹齢200年を超える天然杉があります。

# 滝と溪谷

中播磨の北部や西播磨には、山あいを流れる川によってできた数多くの滝や溪谷がみられ、自然の美しさに触れることができます。



⑥ 越知川名水街道  
神河町

神河町には、越知川沿いに千ヶ峰南山名水、熊野神水、越知ヶ峰名水、笠形神水の4つの名水があります。



名水を巡りながらサイクリングを楽しむ越知川名水街道自転車下り



⑤ 赤西溪谷  
宍粟市

ケヤキ、カエデの木が多く、秋は辺りを赤く彩ります。県内初の森林セラピーを体験することができます。



③ 鹿ヶ壺  
姫路市

美しい滝や溪谷が連なる県指定の名勝。



② 羅漢溪谷  
相生市

「ひょうご森林浴場50選」に選ばれています。



10



9

⑩ 扁妙の滝  
神河町

笠形山の登山道にある高さ65mの滝です。冬には水が凍ることもあり、幻想的な姿を見せます。

⑨ 七種の滝  
福崎町

雄滝ともよばれる高さ72mの滝で、七種山にはこの他にも雌滝、虹ヶ滝など48の滝があります。

⑦ 原不動滝  
宍粟市

88mの高さから三段状になって岩肌を流れる姿は壮大で、「日本の滝100選」にも選ばれています。

⑧ 飛龍の滝  
佐用町

大河ドラマ「軍師官兵衛」タイトルバックのロケ地にもなった、佐用町随一の規模を誇る滝です。



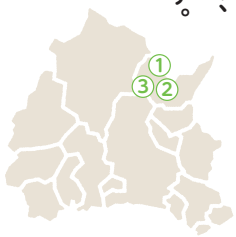
8



7



# 高原



高原は山あいにもまれた平野部で、標高が高いため夏でも涼しく、高山植物も見られます。

## ① 砥峰高原 神河町

西日本有数の約90haに及ぶススキの大草原が広がります。



## ③ 峰山高原 神河町

クヌギやナラの林、笹原などが広がる、なだらかで広大な高原です。



## ② 太田池 神河町

砥峰高原付近のダム湖で、おだやかな水辺空間が広がっています。

## 砥峰高原ロケ地ガイド

自然がみせる幻想的な風景は、多くの映画やドラマで登場しています。

〈ロケ地となった主な作品〉

- ◆ノルウェイの森(映画)
- ◆信長協奏曲(映画)
- ◆軍師官兵衛(NHK大河ドラマ) ほか



「ノルウェイの森」撮影風景



揖保川

# 川

夢前川



加古川



市川



千種川



川は古くから農工業の用水として利用されてきました。また水質が良好なことから、醤油や酒づくりが発達するなど、人々の暮らしに欠かせない存在となっています。

## 播磨五川

播磨を流れる加古川、市川、夢前川、揖保川、千種川は「播磨五川」とよべれます。これら5つの川は小さな支流が集まって形成されており、1つの大きな川になって播磨灘に流れ込んでいます。

## 東山公園 のつり橋

新宮地域市街地の東には、揖保川にかかるつり橋があり、これを渡ると紅葉の名所東山公園があります。



# 棚田

棚田とは、平野がなだらかの土地でも稲作を行えるように、斜面を切り開いて階段状につくられた田んぼです。日本の原風景を今に伝えています。



1 おつ おおき だに  
乙大木谷  
の棚田  
さようちよう  
佐用町

山の斜面に約1000枚の棚田が連なり、夏は一面が稲の緑に覆われ、秋には収穫を待つ稲穂が黄金色に輝きます。



4 山田の棚田  
しろうし  
宍粟市



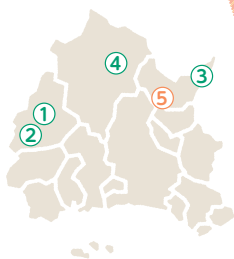
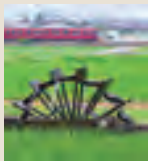
3 おくいざさ  
奥猪篠の棚田  
かみかわちよう  
神河町



2 たわ  
田和の棚田  
佐用町

## 5 田園風景を今に伝える新野の水車 神河町

神河町の新野では、古くから川の水によって農作物が育てられ、江戸時代になると、効率よく水をくみ上げることができる水車がたくさん作られました。その当時ののどかな風景を未来に残すため、水車の設置や保全活動が行われています。



# ため池・疏水

1 かこ おおいけ  
加古大池  
いなみちよう  
稲美町

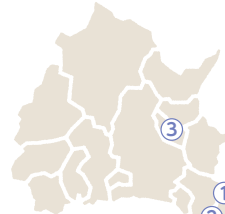
県内最大のため池で、甲子園球場の約12倍の広さがあります。



3 さいこうじのそすい  
西光寺野疏水  
ふくさきちよう  
福崎町  
のうぎようすい  
農業用水が不足していた西光寺野におかべがわ  
に岡部川の水を引くため、1914年に築られました。



2 しんゆようすい  
新井用水  
はりまちよう  
播磨町  
かん  
干ばつに苦しむ古宮村に加古川大  
ぜき  
堰から水を引くための用水路で、  
えどじだい  
1656年(江戸時代)に完成しました。



東播磨は雨が少なく、農業用水の確保が困難でした。そこで江戸時代から明治・大正時代にかけて、雨水を貯めておくための池や、川の水を引くための疏水が多くつくられました。



⑧  
大畑大歳神社の  
大杉  
神河町



⑥  
佐用の  
南光ひまわり畑  
佐用町

佐用町では、7月から8月上旬にかけて数十万本のひまわりが咲き、畑一面が黄色に染まります。



⑦  
おおさけじんしゃ  
大選神社の  
コヤスノキ  
上郡町

国内では西播磨から岡山との県境付近のみにみられる、大変めずらしい木です。

高さ43m、樹齢は約800年とみられ、スギの中では県下2位となる巨樹です。



⑩  
おうしようじ  
應聖寺の  
沙羅  
福岡町

應聖寺の庭園には、仏教三大聖樹の一つに挙げられる沙羅の花が咲きます。



⑨  
佐用の  
大イチョウ  
佐用町

樹齢約1000年と伝えられるイチョウの大木です。



①  
神河の  
ばいかも  
梅花藻  
神河町

水のきれいな場所に育ち、5月から6月になると梅に似た花をつけます。神河町では新野の水路などでみられます。



③  
賀茂神社の  
ソテツ  
たつの市

日本最北端にある自生のソテツ群として、県の天然記念物に指定されています。



②  
法雲寺の  
ビャクシン  
上郡町

ヒノキの仲間で、樹齢600~800年と推定される日本最大級のビャクシンがあります。



⑤  
世界の梅公園  
たつの市

海外の品種も含めた約315種類の梅の木を見ることができる公園です。

たつの市御津町黒崎1858-4  
☎079-322-4100



④  
たつの  
梅  
たつの市

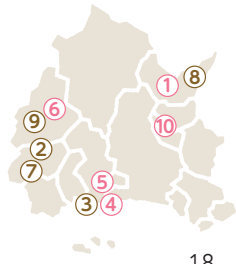
あやべやま ばいりん  
綾部山梅林

広大な綾部山の丘に梅の木が広がる、西日本有数の海が見える梅林です。

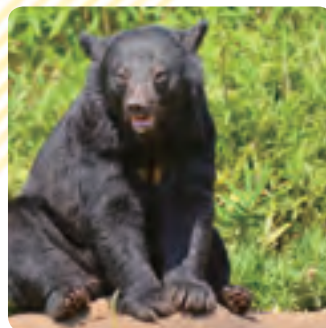
たつの市御津町黒崎1492  
☎079-322-3551

# 木と花

海、山、川など、豊かな自然に恵まれた播磨は、多くの植物たちの宝庫です。

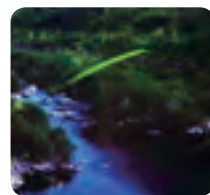


# 播磨の城と城下町



## ツキノワグマ

播磨では氷ノ山を中心とする山岳部に生息。絶滅が心配されていますが、エサを求めて人里に下り、人に危害を加えることもあります。



## ホタル

水のきれいな場所に生息し、播磨ではヘイケボタル、ヒメボタル、ゲンジボタルがみられます。



## 特別天然記念物

## オオサンショウウオ

大きなものは1mを超す世界最大の両生類で、佐用町や宍粟市、神河町などに生息しています。



## 天然記念物

## マガン

冬を越すために日本へやってくる雁の仲間。播磨では川や水田などでみられます。



## 天然記念物

## コクガン

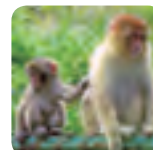
絶滅が心配される雁の仲間。最近ではたつの市の海岸で姿が確認されています。



## 天然記念物

## ヒシクイ

冬に播磨の河川敷やため池でみられる雁の仲間。絶滅が心配されています。



## ニホンザル

神河町や佐用町の一部で見られます。地域での絶滅が心配される一方、農作物が荒らされることもあり、対策が求められています。



## 天然記念物

## オジロワシ

播磨では里山近くに生息していますが、全国的に絶滅が心配される生き物の一つです。



## クマタカ

播磨では里山近くに生息していますが、全国的に絶滅が心配される生き物の一つです。



## 天然記念物

## イヌワシ

ワシの仲間では体長が最も大きく、羽を広げると2mにもなります。最近では全国的にも数が激減し、絶滅が心配されています。

みんなであ  
守ろう!!

# 播磨の生物たち

生物たちの楽園、播磨。しかし生物たちの中には、絶滅が心配されるものもあります。生物たちも、彼らが暮らす豊かな自然環境も、未来に向けて大切に守っていきましょう。

※「兵庫県版レッドリスト2013」より転載

もっと詳しく!  
天然記念物って?

日本の貴重な動物、植物、地質・鉱物、また区域について、その保護を目的として法律で指定されたものです。環境や生態系を考え、これからも守り続けていくことが大切です。

# 姫路城



日本で初めて  
世界文化遺産に登録された、  
歴史ロマンあふれる白鷺城。

白鷺が羽根を広げたような姿から白鷺城の名を持つ姫路城。一度も戦いや火災に巻き込まれたことがなく、現存する日本の城では最も大きく、日本二の名城ともいわれています。高くそびえる天守など、江戸時代の城郭建築の構造がよく残っていることから、1951年国宝に指定され、1993年には日本で初めて法隆寺と共に世界文化遺産に登録されました。国内だけではなく世界中から多くの観光客が訪れ、2015年度の年間来城者数は日本の城郭年間入城者数の最多記録を更新しました。



「真柴久吉公播州姫路城郭築之図」兵庫県立歴史博物館蔵

## お城の歴史

歴史の中で大きく発展し、重要な役割を果たしてきた日本を代表する名城

姫路城は、1333年に播磨で勢力をもっていた赤松氏がとりでを築いたのが始まりとされています。安土・桃山時代には、羽柴(豊臣)秀吉が3層の天守を建て、西国攻略の拠点として重要な役割を担いました。1609年には、池田輝政が現在の5層7階地上6階・地下1階の連立式天守を完成させ、江戸から遠く離れた中国・九州地方の大名たちの動きをけん制し、幕府の体制を維持する役目を果たしました。その後、1618年に本多忠政が息子・忠刻とその妻・千姫のために西の丸を建て、現在の姿となりました。

## 姫路城ゆかりの人物たち



茨城県常総市・弘経寺蔵

### 千姫

はらんぼんじょう しょうがい  
波乱万丈の生涯を送った徳川2代将軍秀忠の娘。7歳で豊臣秀頼の妻となるも、1615年の大坂夏の陣で秀頼は自害。千姫は秀頼と淀殿の助命嘆願のため大坂城を出ており死を免れ、1616年に本多忠政の嫡男・忠刻と再婚し、1626年に忠刻が病で亡くなるまで姫路城で過ごしました。



書写山園教寺蔵

### 池田輝政

いけだてるまさ  
関ヶ原の戦いで徳川家康に認められ、西の要として大きな役割をもつ姫路城の城主となりました。城下町を整備するとともに、姫路城の大改築を行い、今の5層7階(地上6階・地下1階)の天守群を築きました。



福岡市美術館蔵(黒田資料)

### 黒田官兵衛

くろだ かんべえ  
かつて姫路城の城主でしたが、豊臣(羽柴)秀吉が西国に進行してきたときに姫路城を譲り渡し、秀吉の西国攻略を助けました。これによって秀吉から信頼を得て、その後の天下統一に大きく貢献しました。



神戸市立博物館蔵

### 羽柴(豊臣)秀吉

はしば とうとみ ひでよし  
おだのぶなが  
織田信長の命令で西国に攻め入る際、当時の城主・黒田官兵衛から姫路城を譲り受けて拠点としました。御着城の支城にすぎなかった姫路城を3層の天守を持つ城に改築し、城下町を整備しました。

# 姫路城って こんなところ

姫路城には、天守だけでなく門や櫓など、さまざまな建築物があります。その造りにも注目すると、おもしろい発見があるかも。



大天守



乾小天守

## 大天守

3つの小天守が渡櫓でつながった連立式天守。入母屋破風、千鳥破風、軒唐破風などの配置や、白漆喰総塗籠造の白壁が調和した美しい姿を持ちます。



菱の門

二ノ丸の入口の守りを固める役割を果たす、最も大きな門です。



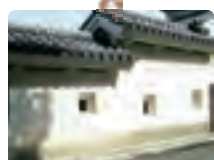
埋門

石垣上に土塀を設け、一部に穴を開けた門。敵が攻めてきたときは、土砂を埋めて侵入を防げるように作られていました。



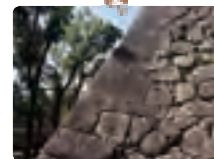
櫓

平時は武器庫、戦のときは陣地として利用されました。西の丸に残る多門櫓には住むための空間もありました。



狭間

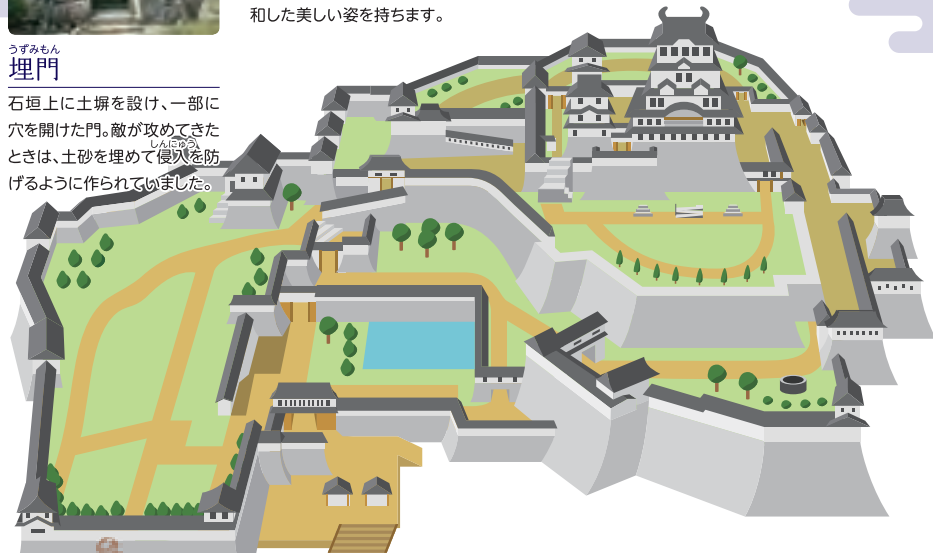
鉄砲や矢を射るため、櫓や土塀の壁面に開けられた□○△の穴。城内には約1000カ所の狭間が残っています。



石垣

城の土台で、守りの役割も果たす石垣。姫路城では、技術の進歩によって変化する石の積み方や加工方法を見ることができます。

姫路城 姫路市本町68 ☎079-285-1146



知ってる??

## 姫路城の伝説

長い歴史の中で姫路城に伝わるさまざまな伝説。その一部をご紹介します。

### ◆ 姥が石

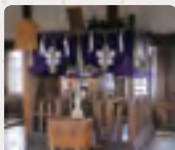
羽柴(豊臣)秀吉が築城に取り掛かったとき、石垣の石が集まらず苦労していました。城下で焼きもちを売る貧しいお婆あさんがそれを聞き、「せめてお役に立てば」と石臼を差し出しました。秀吉は大変喜び、さっそく石臼を石垣に利用しました。この話が評判を呼び、人々が競って石を持ち寄ったため、工事が順調に進んだといわれています。この石臼は今も乾小天守の石垣に残っています。



石臼が使われた石垣

### ◆ 宮本武蔵の妖怪退治

木下家定が城主のころ、宮本武蔵は名を変えて天守を守る足輕組に奉公していました。当時、城には妖怪が出る噂されていました。武蔵が平気で夜回りを続けていたことから、家定は武蔵に妖怪退治を命じました。武蔵が天守に上っていくと、炎に襲われ、城が激しくゆれました。しかし武蔵が腰の太刀に手をかけると、辺りは元の静けさになりました。最上階まで上った武蔵は明け方まで番をします。そこへ美しい姫が現れ、妖怪が武蔵を恐れ退散したことを伝えると、白木の箱に入った義弘の名刀をほうびとして与えたといわれます。この姫こそ姫路城の守護神・刑部明神。天守の最上階には、今も刑部明神を祀った刑部神社があります。



天守閣の最上階にある刑部神社

### ◆ 播州皿屋敷

小寺則職が城主のころ、臣下である青山鉄山が城の乗っ取りを計画していました。これに気づいた忠臣の衣笠元信は、女中のお菊を鉄山の屋敷へ潜り込ませました。鉄山らに城を占拠された後もお菊は内情を探りますが、鉄山の家来である町坪弾四郎に知られてしまいます。お菊に想いを寄せる弾四郎は、これを楯に結婚を迫りますが、お菊は拒否。腹をたてた弾四郎は小寺家家宝の皿を一枚隠すとお菊に罪を着せ、切り殺して井戸に投げ込んでしまいます。すると井戸から、毎夜「一枚二枚…」と皿を数えるお菊の声が聞こえるようになったといわれています。その後、鉄山らは元信によって滅ぼされました。十二所神社の境内にはお菊神社があります。



城内のお菊井戸

みどころ!

### ①野里エリア

姫路城の北東に位置する商業・職人のまち。伝統産業である鑄物の製造がさかんで、播磨鍋(野里鍋)をはじめ、釜や鍬、そして釣鐘の鑄造が古くから行われてきました。



おののけいじゅうたく  
大野家住宅  
むしこまど  
虫籠窓や格子窓など、町家の特徴的な様式が今も残っています



なつせいじゅうろうひよくづか  
お夏・清十郎比翼塚(慶雲寺)  
身分の違いから仲を引き裂かれたお夏と清十郎を  
吊う塚があります

みどころ!

### ③姫路城西御屋敷跡庭園 好古園

江戸時代の藩主の西御屋敷跡を元に整備された日本庭園です。9つの美しい庭があり、四季折々の花が楽しめます。

姫路市本町68 ☎079-289-4120



みどころ!

### ②城西エリア

参勤交代の経路だった西国街道があったことで、姫路の代表的な商店街として大きく栄えました。商業を支えた舟運のなごりや町家などが残っています。



はつつけ  
初井家  
きたはらはしゅう  
北原白秋に教えを受けた歌人・  
はつせい  
初井しづ枝が嫁いだ初井家の住宅  
(非公開)

みどころ!

### ④男山千姫天満宮

本多忠刻の妻である千姫が夫の病平癒と本多家の繁栄を願い、姫路城の北西にある男山に建てた神社です。千姫は、西の丸長局の廊下から毎日祈りをささげたとわれています。姫路市山野井町1-3



近世の遺産をたずねて

### 佐野邸

藩の命令によって開墾された新田を治めてきた佐野家が、1771年に建てた住まいです。めずらしい庄屋風の造りが今も残っており、姫路市の指定文化財となっています。

姫路市夢前町新庄1262



姫路の城下町は、第二次世界大戦の空襲でそのほとんどが失われました。しかし、一部の地域には、江戸時代から続く伝統的な町並みが今も残っています。



歴史発見!  
姫路城下町マップ

### 姫路城 ロケ地ガイド

歴史情緒あふれる城下町や武家屋敷の風景など、たくさんの映画やテレビドラマで姫路の姿を目にすることができます。

ロケ地となった作品:

- ・[G]ジョー・漆黒のスネークアイズ
- ・[引]つ越し大名!! (映画)
- ・[関]関ヶ原 (映画)
- ・[大奥] (映画・ドラマ) ほか



「大奥」撮影風景 写真提供: 姫路フィルムコミッション

# 赤穂城



赤穂城は、藩主・浅野長直が1648年から13年の歳月をかけて築いたものです。近世の城では非常にめずらしい設計がなされ、複雑に折れ曲がる石垣やさまざまな角度で設けられた門など、その構造は戦を強く意識したものでした。明治時代の廃城令で建物が取りこわされ、現存するのは堀と石垣と二部の建物のみですが、1971年に国の史跡に指定されると、復元が進められました。2002年には本丸庭園と二之丸庭園が国の名勝に指定されたほか、現在も整備が進められています。

## 13年の歳月をかけて完成した赤穂藩と赤穂義士のシンボル

### お城の歴史

#### 赤穂義士四十七人の討ち入り

藩主・浅野内匠頭長矩が、江戸城で朝廷の使者を迎える任務を命じられた際、指南役・吉良上野介義央に斬りかかるという事件が起きました。

將軍である徳川綱吉は激怒し、浅野内匠頭に即刻切腹、赤穂藩のお取りつぶし、赤穂城の明け渡しを命じました。

赤穂藩筆頭家老・大石内蔵助良雄は、幕府に浅野家の再興を願い出しましたが、受け入れられなかったため、吉良への仇討ちを決意。



歌川国芳「誠忠義士伝」大星由良之助良雄

1702年12月14日、大石内蔵助ら47人の赤穂義士たちは、吉良上野介を討ち果たします。



おおいしよししたかたくおとながやもん 大石良雄宅跡長屋門

この事件によって、平和が続く江戸の時代に薄れつつあった武士道の精神や主君への忠誠心が人々の心を打ち、赤穂義士たちは英雄として語り継がれるようになりました。

#### 赤穂四十七士の鎮魂を願う 赤穂義士祭

赤穂市では、毎年討ち入りが行われた12月14日に赤穂義士祭が行われています。大名行列や義士たちの行列をはじめとするさまざまなイベントが開催され、討ち入りを果たした赤穂義士たちを顕彰しています。



#### 赤穂藩飛び地の寺

加西市

#### 久学寺

浅野家藩主として初代である長直の頃よりゆかりのある、赤穂藩三がく寺(赤穂の花岳寺、東京の泉岳寺)の一つ。歴代藩主と義士の位牌が祀られています。



加西市上芥田町  
982  
☎0790-44-1405



みどころ!

### ① 赤穂大石神社・大石良雄宅跡

大石内蔵助をはじめとする47人の赤穂義士たちが祀られています。境内には国指定史跡に建つ大石良雄宅跡長屋門や庭園、義士ゆかりの武具・書画を展示している義士宝物殿があります。

赤穂市上仮屋旧城内 ☎0791-42-2054



みどころ!

### ② 花岳寺

浅野家の先祖を祀るための寺として、藩主・浅野長直によって建てられました。境内には浅野内匠頭、大石内蔵助、赤穂義士47人の墓碑が並び、浅野家や義士に関する資料を取めた宝物館、義士木像堂などがあります。

赤穂市加里屋1992 ☎0791-42-2068



みどころ!

### ③ 息継ぎ井戸

浅野内匠頭が吉良上野介を斬りつけた事件の第一報を知らせるため、江戸より大石内蔵助邸に駆けつけた赤穂藩士の早水藤左衛門と萱野三平は、この井戸の水を飲んで一息ついたといわれています。

赤穂市加里屋



みどころ!

### ④ 赤穂市立歴史博物館

「赤穂の塩」「赤穂の城と城下町」「赤穂義士」「旧赤穂上水道」のテーマにそって、赤穂の歴史を学ぶことができます。国の重要有形民俗文化財に指定されている製塩用具も展示されています。

赤穂市上仮屋916-1 ☎0791-43-4600



### 近世の遺産をたずねて

#### ◆旧上水道モニュメント

赤穂の城下町は海に面していたため、暮らしに欠かせない水を得るために井戸を掘っても良質な水は得られませんでした。そこで1616年、赤穂城や城下町に川の上流から水を引くための旧赤穂上水道が造られました。日本三大水道の一つといわれ、各所にモニュメントが整備されています。

赤穂市加里屋



市街の東を干種川が流れ、南に播磨灘が広がる赤穂の城下町。赤穂義士たちゆかりの地がいたるところに残り、その様子を伝えています。



### ロケ地ガイド

赤穂義士たちの討ち入りは民衆の心をつかみ、創作が加えられて人形浄瑠璃や歌舞伎の演目となりました。これを「忠臣蔵」といい、現在でも映画やドラマで描かれ、その舞台に義士たちゆかりの場所が数多く登場しています。



# 龍野城



龍野城は、揖保川と鶏籠山をはじめとする山々に囲まれた自然豊かな龍野の地に築られました。江戸時代には、三日月の大豆、揖保川の清流、赤穂の塩を利用した醤油の製造など、現在まで受け継がれる産業が大きく発展を遂げました。江戸時代の風情が感じられる町並みが今も残る龍野城下町は、播磨の小京都といわれています。

## 武家文化と 伝統産業が花開いた 播磨の小京都

### お城の歴史

城下町の基礎を築き、  
産業を発展させた脇坂氏

龍野城は、有力豪族であった赤松氏が1499年に鶏籠山頂に城を築いたのが始まりといわれています。1577年に織田信長が全国統一を進める中、豊臣(羽柴)秀吉に城が明け渡され、以来多くの大名が龍野城の城主となりました。

1672年に城主となった脇坂安政は、龍野城の修築に取り掛かるとともに、城下町の整備を行い、現在に至る町の基礎を築き上げました。

その後、龍野城は取り壊されましたが、1977年から本丸御殿、城壁、多聞櫓、埋門、隅櫓などが整備されています。当時の城の様子を伝えています。

### 「龍野さくら祭と武者行列」

たつの市では、毎年春にさくら祭と武者行列が行われます。武者行列は、明治時代に旧龍野藩士が甲冑姿で龍野神社にまいったことが始まりといわれ、武士のよろいやかぶとを身につけた子どもたちが桜の咲く龍野の城下町を歩きます。



### 「龍野城下町ゆかりの人物」

#### 三木露風

詩人・童謡作家である三木露風は、1889年に現在のたつの市龍野町に生まれました。露風が1921年に発表した「赤とんぼ」には、ふるさと龍野を想う露風の心情が色濃く表れています。山田耕筰の作曲によって広く知られ、日本の代表的な童謡の1つとして、時代を超えて今も歌い継がれています。



三木露風立像



龍野城下町にある生家



たつの公園の赤とんぼ歌碑



ほんまるごてん  
本丸御殿



うらもん  
埋門

みどころ!

### ① 聚遠亭

脇坂氏の上屋敷であった御涼所をはじめ、安政年間に移築されたと伝わる茶室「浮堂」や、裏千家鵬雲斎千宗室が名づけた茶室「楽庵」などがあります。

たつの市龍野町中霞城6 ☎0791-62-2058



みどころ!

### ② 龍野歴史文化資料館

たつの市は古くから山陽道・因幡街道が通り、中世には筑紫大道、近世には掛保川の水運により常に交通の要衝の地として栄えてきました。このため多くの歴史資料が残され、古代から近世までの資料を保存公開しています。

たつの市龍野町上霞城128-3 ☎0791-63-0907



みどころ!

### ③ 醤油の郷大正ロマン館

国の登録有形文化財である事務所棟、醸造工場を、アンテナショップ兼カフェ、観光案内所等を備える観光交流拠点として公開しています。各種イベントや市内外の作家による作品展等も行っていきます。

たつの市龍野町上霞城126 ☎0791-72-8871



みどころ!

### ④ うすくち龍野醤油資料館

醤油会社本社であったレンガ造りの建物は、平成20年4月に国の登録有形文化財に登録されました。昭和初期まで蔵人が使っていたこうじむろ、桶、樽などの製造用具、文系、資料を一堂に展示しています。

たつの市龍野町大手54-1 ☎0791-63-4573



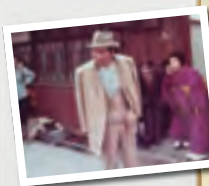
龍野城を中心に南へ広がる城下町。龍野藩五万三千石の城下町として栄えた姿や、武士たちの質素儉約な暮らしぶりを、時を超えて感じることができます。



歴史発見!  
龍野城下町マップ

### ロケ地ガイド

龍野の町並みは、数々の映画やテレビドラマの舞台として登場しています。特に日本を代表する映画『男はつらいよ』では、日本人の持つ温かみや人情と、かつての古き良き日本の姿を残す龍野の町並みが見事に調和しています。



浦川(如来寺前)

### たつの市 龍野伝統的建造物群保存地区

「たつの市龍野伝統的建造物群保存地区」は、脇坂氏の約200年にわたる長い藩政を象徴する龍野城下町の一部です。江戸時代から昭和初期までに建てられた町家や、近代の醤油醸造関係の遺構等、多様な町並みを色濃く残していることから、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されています。



# 歴史を感じる町並み

## ぐるり 陣屋跡めぐり

陣屋とは城を持たない大名の屋敷で、藩内の政治・経済の中心として機能しました。明治政府の廃城令によってほとんどがなくなりましたが、播磨にはかつての陣屋跡が数多く残っています。



### 姫路市 ① 林田藩陣屋跡

1617年、林田藩初代藩主建部政長によってつくられた陣屋です。近くには武士だけでなく庶民でも入学できた藩校「敬業館」があり、学問や武道の教育がさかんでした。藩校は幕末に再建された講堂が今もそのまま残っています。



姫路市林田町林田

### 姫路市 ② 安志藩陣屋跡

1717年に安志藩藩主小笠原長興によって建てられました。現在は姫路市立安富中学校となっていますが、表門は陣屋跡近くの真光寺に、また大手門は実法寺の齋神社に移され、その姿を見ることがができます。



姫路市安富町安志320-1

### 宍粟市 ③ 山崎藩陣屋跡

1679年に山崎藩藩主となった本多忠英によって建てられました。近くには歴史資料が展示されている山崎歴史郷土館と、山崎の暮らしに関わる資料が展示されている山崎歴史民俗資料館(要予約)があります。



宍粟市山崎町鹿沢80、81

### 神河町 ④ 福本藩陣屋跡

1663年に、池田政直(初代姫路藩主池田輝政の孫を初代藩主として立藩し、八代にわたり幕末までこの地に陣屋を構え政治を行いました。陣屋に造られた池泉回遊式の庭園は、県内では事例が少ない大名庭園で兵庫県の指定文化財に指定されています。



神崎郡神河町福本

### 佐用町 ⑤ 三日月藩 乃井野陣屋跡

1697年に森長俊が初代藩主となった三日月藩では、以後明治時代にいたるまで、乃井野陣屋を中心とする城下町が栄えました。現在は江戸時代の建物として物見櫓や表門が整備され、出土品を展示する陣屋館があります。



佐用郡佐用町乃井野966  
☎0790-79-3002(土日祝)



## 魚吹八幡神社の 提灯まつり

魚吹八幡神社で毎年10月21・22日  
に行われる秋祭りのこと。

21日の宵宮では竹竿の先に提灯を  
つけて練り歩き、神社の入口で互いに  
提灯を激しく叩き合います。竹竿の鳴  
る音、人々のどよめきが混じり合って  
祭りは盛り上がります。

22日の本宮では、豪華絢爛な屋台  
の練り合わせが見ものです。

## 龍門寺

1661年に盤珪  
禅師が建てた  
禅宗の寺。創  
建には丸亀藩  
京極家と網干の  
豪商・瀬屋の援助がありました。寺には20以上の堂があり、播磨地方でも屈指の禅宗寺院です。

姫路市網干区浜田812 ☎079-272-1276



## ダイセル異人館

ダイセルの前身のセルロイド会社が建てた洋風建築。会社に招いた外国人技術指導者の宿舎として利用されました。現在は資料館として無料で一般に公開されています。

姫路市網干区新在家1239 ☎079-273-7001



旧水井家

## 加藤家、片岡家、旧水井家

網干地区には、歴史を感じさせる住宅が多く残っています。運送業や醤油づくりを手がけた加藤家は、主屋や長屋門、蔵などを備え、国の登録有形文化財に登録されています。片岡家は1702年に建てられた大庄屋の住宅です。大正時代に建てられた旧水井家は戦前まで材木問屋を営んでおり、住宅に利用されている木材は立派です。このような町並みを観光客に案内する「網干まちなかあるき」が開催されています。



片岡家



加藤家

## 不徹寺

1688年、盤珪禅師の弟子である田捨女が龍門寺のそばに開いた寺。捨女は6歳のときに「雪の朝 二の字二の字の下駄の跡」の句を読んだ俳人でもあります。

姫路市網干区浜田632 ☎079-272-0823



## あぼしまち交流館

網干の魅力発信拠点として2009年にオープン。地場製品の販売や朝市などさまざまなイベントのほか、観光ガイドも行っています。

姫路市網干区  
余子浜12  
☎079-255-8001



# 網干

姫路市

## 祭り華やか歴史の町

「網干」の名前は、地区にある魚吹八幡神社の放生会(捕まえた生き物を放す行事)の日に、漁師が殺生をやめ網を干してお参りをしたことに由来するといわれています。

網干は江戸時代のはじめは姫路藩領でしたが、その後は天領(幕府の領地)、龍野藩領、丸亀藩領に分かれるなどして、複雑な歴史をたどりました。そのため古い寺社や町並みが残り、多くの文化財がある地区です。

魚吹八幡神社の秋祭りは、提灯練りやダンジリ、屋台の差し上げで有名です。他にも、季節の祭りや味わい深い地酒の製造など、独自の文化が育まれてきました。

戦国時代の天才軍師、黒田官兵衛は、大名になったときに豊臣(羽柴)秀吉からこの網干の地を与えられたといわれています。最近ではあぼしまち交流館を拠点に観光案内やイベントなどの町おこしを行っています。また、毎年2月ごろに行われる「網干かき祭り」にも大勢の人が訪れます。



# 坂越

赤穂市



生島



坂越大道

## 坂越の船祭

毎年10月第2日曜に行われる大避神社の秋の祭礼。

神社での神事後、神輿や獅子舞が浜辺まで練り歩き、御旅所がある生島まで船渡御が行われます。

船が吹き流しや幟を立てて巡行する様子や日没後に提灯をともして島から帰ってくる様子が美しく、瀬戸内三大船祭りの一つに数えられます。国の重要無形民俗文化財に指定されています。



## 旧坂越浦会所

行政や商業のための村会所として1831~1832年に建築。赤穂藩主の休憩所としても使われました。2階の部屋「観海楼」からは坂越湾が一望できます。

赤穂市坂越1334 ☎0791-48-7755



## 大避神社

聖徳太子の臣下、秦河勝を祀っています。現在の本殿や拜殿は江戸時代に再建。坂越湾に浮かぶ生島を神地とし、毎年秋に坂越の船祭(国の重要無形民俗文化財)が行われます。

赤穂市坂越1299 ☎0791-48-8136



## 黒崎墓所

江戸時代の廻船業がさかんだった時期に、坂越浦海域で海難や病気で亡くなった他の地域の人たちの墓。「よそ三昧」ともいわれています。兵庫県指定文化財。

赤穂市坂越2909



## 坂越まち並み館

明治末期から大正時代の銀行であった建物(旧興藤銀行)を修復したもので、坂越の景観の中心。館内では、坂越の歴史や文化をパネルで紹介しています。また、銀行時代のアメリカ製大金庫も残っています。

赤穂市坂越1446-2 ☎0791-48-7770



## 大道が結ぶ川と海

江戸時代、瀬戸内海でも有数の廻船業(海運業)の地として栄えた坂越。千種川と坂越湾をつなぐ坂越大道には、当時のおもかげを残す美しい町並みを見ることが出来ます。

坂越湾に浮かぶ生島は、古来より人の立ち入りが禁じられたことから原生樹林が残り、国の天然記念物に指定されています。秋に開催される坂越の船祭(国の重要無形民俗文化財)では、生島への船渡御が行われます。

牡蠣養殖も盛んで、牡蠣などの海産物が食べられる「海の駅しおさい市場」は、冬になると県内外からの観光客で賑わいます。

坂越まち並み館や旧坂越浦会所、江戸時代から続く興藤商事といった歴史的建造物が保存された町並みは、市の景観形成地区に指定されているほか、塩や北前船に関する日本遺産の構成文化財など、多くの歴史文化遺産が残されています。

平成30年5月に、日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間〜北前船寄港地・船主集落」の構成文化財として、坂越の文化財7件が認定  
◆認定文化財 生島、坂越のまちなみ、旧坂越浦会所、黒崎墓所、坂越の船祭、船賃銀定法、大避神社の奉納物



### たかさご万灯祭

高砂町が兵庫県の歴史的景観形成指定地区になったことをきっかけに2007年から毎年9月に開催されています。歴史的建造物や6kmにわたる路地がライトアップされ、町中が灯りに包まれます。ジャズコンサートや模擬店など、さまざまなイベントも行われます。

山陽電車「高砂駅」南側一帯

☎079-451-6796(高砂市シティプロモーション室)



三連蔵



# 高砂町

高砂市

高砂神社

### 十輪寺

815年に弘法大師が建てたと伝わる寺。1207年、浄土宗祖法然上人が高砂に来られたことにより、浄土宗になりました。

高砂市高砂町横町1074 ☎079-442-0242



### 花井家住宅

別名「高砂来て民家」。漆喰の壁に虫籠窓が特徴の江戸末期の古民家。国の登録有形文化財。

高砂市高砂町高瀬町1511 ☎079-443-5306



### 大崎家住宅

出格子、袖うだつ、坪庭といった町屋の意匠を持つ明治時代の建物です。国の登録有形文化財。

高砂市高砂町藍屋町1667

☎079-441-8076(高砂市観光交流ビューロー)



### 松宗蔵

1823年に建てられ、はじめは米蔵で、その後乾物の蔵として使われました。国の登録有形文化財。

高砂市高砂町東浜町1254

☎079-441-8046(高砂市観光交流ビューロー)



**産業を支える町並み**

池田輝政が高砂の町割り(都市計画)をし、本多忠政の時、現在の高砂の町の基礎が築かれました。江戸時代はじめから港を中心に舟運により栄え、堀川には大きな蔵が立ち並び、多くの高瀬舟が往来して繁栄したと伝えられています。

明治末期になると産業の中心が漁業や商業から工業に移り、町の様子も大きく変わります。しかし、町内には江戸時代からの民家や歴史ある寺や神社が数多く残り、かつての雰囲気は今に伝えていきます。特に、堀川周辺地区では、壁に漆喰、屋根に和瓦など伝統的な材料が使われ、木製の格子や虫籠窓など、建物の工夫を見ることができま。

これらの町並みは兵庫県の歴史的景観形成地区に指定。「花井家住宅」「松宗蔵」「大崎家住宅」など国の登録有形文化財に指定された建物の活用も進んでいます。

### 高砂神社

高砂市高砂町東宮町190

☎079-442-0160





# 北条

加西市



五百羅漢

酒見寺

## 住吉神社龍王舞

住吉神社では毎年4月に北条節句祭りが行われます。東西の神輿と15台の屋台が町中を練り歩く、播州三大祭りの一つといわれる華やかな春の祭りです。

境内では龍王舞が行われます。舞は二つに分かれ、前半は猿田彦命が鉾を持って舞い、後半は素手で舞って人々の心を表します。龍王舞は兵庫県の無形民俗文化財に指定されています。



## 北条の五百羅漢

羅漢寺境内に500体近い石仏「五百羅漢」が並びます。慶長年間に酒見寺の復興に併せて作られたと考えられています。兵庫県指定史跡。

加西市北条町北条1293 ☎0790-43-0580

## 酒見寺

745年に僧・行基が建てたといわれる寺。美しい色彩の多宝塔は国の重要文化財に指定されています。

加西市北条町北条1319 ☎0790-42-0145



## 住吉神社

奈良時代に建てられたといわれます。三棟が横並びになっている本殿とその前に建つ拝殿は、国の重要文化財。

加西市北条町北条1318 ☎0790-42-0423



**歴史と今が溶け合う町**  
北条地区は、奈良時代に建てられた住吉神社や酒見寺の門前町として栄えました。山陽と山陰を結ぶ交通の拠点でもあり、江戸時代には商業の盛んな在郷町としても賑わった北播磨地域の中心的存在です。  
その繁栄をもとに商人は豪華な家や店を建て、現在も建物に卯建や虫籠窓などを見ることができます。  
北条地区は現代も北条鉄道の始発駅や観光案内所、図書館やホール、ショッピングセンターなどが集まり、加西市の中心としての役割を果たしています。町並みは兵庫県の歴史的景観形成地区に指定され、保存や観光資源として生かす取り組みが進められています。  
また、付近には個性豊かな表情の石仏がずらりと並ぶ五百羅漢、国の登録有形文化財に指定された大信寺などもあります。

## 地域交流広場「まちなか春陽堂」

築200年以上の歴史を持つ旧柏原春陽堂(御旅町)は改修されて、地域の人や子どもたちが集い世代を越えた交流ができる場となっています。

加西市北条町北条1090-3







# 室津

たつの市



室津港

## 波穏やかな天然の良港

8世紀はじめに編纂された『播磨国風土記』には「この泊、風を防ぐ」と室の如し」と記され、三方を山と岬に囲まれた地形が風を防ぎ、部屋の中のように静かな港であることが室津の名前の由来だと伝えられています。室津は、奈良時代の僧である行基（→P.87）によって整備されたという「摂播五泊」のひとつ。平安時代には賀茂神社が建てられ、平清盛も参拝したといわれています。江戸時代には、参勤交代で江戸と領地を往来する西国大名が、船の停泊や陸路と海路の乗り換え地点として利用し、「海の宿駅」として繁栄しました。また、北前船寄港地船主集落として日本遺産にも認定された歴史ある港町です。

明治時代以降は、海路から陸路へ交通手段の中心が移行したため、町並みがそのまま残り、「歴史とロマンの港町」として愛されています。谷崎潤一郎や司馬遼太郎など、多くの作家の作品にも取り上げられています。



## 小五月祭

賀茂神社の春の例祭。平安時代後期に室津の遊女の長・室君が、神社に「棹の歌」を奉納したことにちなんだ例祭です。

現在も鼓を持ち烏帽子をつけた少女たちが「棹の歌」を奉納します。「室津小五月祭（棹の歌）」は兵庫県重要無形民俗文化財に指定されています。



## 琉球使節行列図

(江戸時代 たつの市教育委員会蔵)

琉球(現在の沖縄県)の使節団をはじめ、朝鮮通信使や長崎のオランダ商館付の医師、ケンペルやシーボルトも室津を訪れました。

## 浄運寺

法然上人ゆかりの寺。上人の説法を聞き出家したといわれる遊女・友君の塚があります。

たつの市御津町室津168  
☎079-324-0030



## 室津海駅館

廻船問屋として活躍した豪商「嶋屋」の建物を利用した資料館。特別展なども開催されます。

たつの市  
御津町室津457  
☎079-324-0595



## 室津民俗館

海産物問屋「魚屋」を改修した資料館。多数の部屋があり、かつての繁栄がうかがえます。

たつの市  
御津町室津306  
☎079-324-0650



## 賀茂神社

港に突き出す丘陵に建つ神社で、参籠所からの眺めが素晴らしい。本殿等8棟が、国指定重要文化財。

たつの市  
御津町室津74  
☎079-323-3171





### 柳田國男生家

日本民俗学を開拓・確立した柳田國男が生まれた家。國男はこの家を著書で「日本一小さい家」と書いています。兵庫県指定重要民俗文化財。

神崎郡福崎町西田原1038-12 ☎0790-22-1000



### 大庄屋三木家住宅

姫路藩の大庄屋を務めた三木家の屋敷。柳田國男が幼い頃にこの本を読み耽ったといわれています。令和2年度から、屋敷の一部(副屋他)を宿泊・レストランなど複合型ホテルとして活用しています。兵庫県指定重要文化財。

神崎郡福崎町西田原1106



### 河童の河太郎と河次郎

辻川山公園のため池にいる河童の河太郎と河次郎。池の中にいる河次郎は、時間が来ると池の中から飛び出してくれます。

神崎郡福崎町西田原



鈴ノ森神社と学問の神様・菅原道真を祀る北野天満神社を結ぶ道を「学問成就の道」と呼んでいます。



### 柳田國男・松岡家記念館

國男の兄弟(鼎、通泰、静雄、映丘)も各界で大成しており、その兄弟5人の業績を称える記念館。

神崎郡福崎町西田原1038-12 ☎0790-22-1000

### 柳田國男

1875年、神東郡辻川村の松岡家に六男として生まれました。全国を歩いて庶民生活に生きる信仰、習慣、儀礼、行事などを研究し、日本民俗学を確立。著書に『遠野物語』『故郷七十年』などがあります。

### 神崎郡

### 歴史民俗資料館

明治時代に神東・神西郡役所(神崎郡役所)として建てられた洋風建築。主に福崎町の歴史資料や生活用具・農具などを展示しています。兵庫県指定重要文化財。

神崎郡福崎町西田原1038-12 ☎0790-22-5699



### 辻川界隈歴史・文化館(旧辻川郵便局)

大正時代に建てられた洋風の郵便局舎。現在は宿泊施設として活用しています。国登録有形文化財。

神崎郡福崎町西田原1022-1

# 辻川

福崎町

## 民俗学のふるさと

辻川地区は、福崎町の歴史・文化の中心地です。明治時代には生野鉱山寮馬車道(通称・銀の馬車道)→P・103が通っていました。銀の馬車道とは生野銀山(現在の朝来市)と飾磨津(現在の姫路港)を結ぶ馬車専用の道路で、日本初の高速度産業道路といわれています。

当時建てられた洋風建築の役所は現在も残り、辻川の歴史を感じさせます。

辻川は「日本民俗学の父」といわれる柳田國男や日本画家の松岡映丘らの兄弟が生まれた地区でもあります。町を流れる市川では河童が出るという伝説があり、國男の民俗学研究に影響を与えています。

大麦の一種「もち麦」を使ったもちむぎ麵(→P.64)が名産で、そばやうどんとは異なる独特の食感が特色です。

近年では、これらの地域資源を生かして町並み保存や観光振興に力を入れています。



# 平福

佐用町



## 瓜生原邸

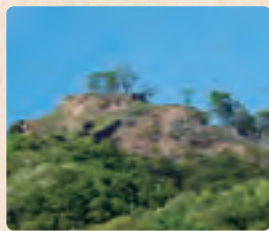
1810年に建築されたといわれる瓜生原邸は、平福地域の町家の特色を持つ貴重な建築物で、享保年間に津山から移住した瓜生原家によって、代々「吹屋」の屋号で、昭和初期まで鑄物業が営まれてきました。2006年に県の景観形成重要建造物に、2014年に県の登録文化財に登録されています。2014年に大規模な改修工事が行われ、現在は地域の人たちの手によって「お休み処瓜生原」として、地域の活性化に活用されています。

佐用郡佐用町平福439  
☎0790-71-0812

## 利神城跡(国指定史跡)

池田輝政の甥、池田由之が城主となり、5年かけて作った城。三層の楼閣は雲を突くように立派で「雲突城」とも呼ばれています。麓の御殿屋敷跡にも立派な石垣が残っています。

佐用郡佐用町平福・口長谷



## 平福陣屋門(町指定建造物)

利神城が廃城となった後、平福は松平氏5千石の代官の支配となりました。現存する陣屋門は1864年に代官・佐々木平八郎が建築したと伝わっています。

佐用郡佐用町平福981-4



## 平福郷土館

江戸時代の代表的な町家の建築を再現した資料館。宿場町の商人が使っていた高い道具や民具、利神城ゆかりの品を展示しています。

佐用郡佐用町平福594  
☎0790-83-2635(土日祝)



## 平福の伝説



## 宮本武蔵 初決闘の地

宿場町として栄えた平福の金倉橋のためと、1596年、宮本武蔵が初決闘をしたといわれています。

武蔵は当時13歳でしたが、新当流の達人、有馬喜兵衛に勝負を挑み、刀一振り倒したといわれます。

武蔵は著書『五輪書』に、初決闘の13歳から29歳までの間に60回以上の勝負をし、すべて勝ったと記録しています。

## 川面に映る宿場町

平福は、江戸時代のはじめに現在の町並みが作られ、その後、因幡街道の宿場町として栄えました。町並みは佐用川に沿って南北に1.2km続いています。

姫路城主・池田輝政が利神城の城主として甥の池田由之を派遣。平福は城下町として整備されました。城主の国替で城下町の役割を終えた後は、姫路と鳥取を結ぶ街道の宿場として、鳥取藩の本陣も置かれ賑わいました。街道沿いの文化交流により、町並みの中に播州系(播磨地方)の造りの家と作州系(岡山県美作地方)の造りの家の両方を見られるのが特徴です。

佐用川沿いの石垣や川座敷、川の水面に土蔵群が映る様子は平福らしい景色として愛されています。周辺には宮本武蔵に関する伝説が残る歴史豊かな地区でもあります。この町並みを保存して未来に伝えようと住民と行政が一緒に取り組んでおり、兵庫県歴史的景観形成地区に指定されています。



# 中村・粟賀町

神河町

## 歴史や文化を感じる町

兵庫県景観形成条例の中村・粟賀町歴史的景観形成地区は、古くから播磨と但馬を結ぶ要衝として栄えました。江戸時代には、姫路から但馬への生野街道(但馬街道)の宿場町として賑わい、播磨・但馬・丹波、そして京・大阪・江戸へ人やものを運ぶ中継地としての役割も果たしました。当時の様子を兵庫県景観形成重要建造物に指定されている旧難波酒造(国の登録有形文化財)・竹内家住宅や屋号のある町屋(商家)からうかがい知ることができます。また、明治時代になると、生野鉾山寮馬車道(通称：銀の馬車道(19103))が通り、町は日本の近代化を支える道路とともに発展してきました。松本荘郎という偉人の生家もこの通りにあります。

また、姫路、丹波、但馬への案内を記した江戸時代の石仏・道標や明治時代につくられた道路元標、そして地区全体に張りめぐらされた水路もあり、田園部と街道筋が融合した情緒ある町並みを感じることができま

### 銀の馬車道交流館

生野銀山と飾磨津(現在の姫路港)を結ぶ馬車専用の道路「銀の馬車道」に関する資料を展示しているほか、地域の交流拠点としても活用されています。  
神崎郡神河町中村78 ☎0790-32-0737



旧難波酒造(国登録有形文化財)



### 竹内家住宅(景観形成重要建造物)

地域一帯のお茶の間屋としての役割を営んできた地域盟主の邸宅跡。天保12年(1841年)の粟賀火災により内蔵を残し他の建物は全焼したため、生野銀山の山師の邸宅の一部を移築したとされています。兵庫県景観形成重要建造物。  
神崎郡神河町中村161



よしみかわら 吉富瓦

竹内家住宅や春日神社拝殿(兵庫県指定重要有形文化財)にも使用されている。



### 生蓮寺

文禄4年(1595年)、観空智伝和尚が粟賀の地に念仏の教えが無いのを嘆き、浄土念仏の道場として生蓮寺を開きました。寺の名称の由来は、西山上人の歌「生きて身を蓮のうゑに宿さずば念仏申す申妻やなからん」の「生」と「蓮」からきています。

神崎郡神河町粟賀172-2

### 仙霊茶

生蓮寺の第6世定空上人が神河の地でお茶を植えたのをきっかけに栽培が盛んになった。後に製造販売した「仙霊茶」は、京都宝鏡寺の宮様から命名されて以降、毎年献上され、良質の茶として広く知られました。



### 松本 荘一郎

～日本初の工学博士/日本鉄道のけん引者～

1848年、粟賀村(現・神河町粟賀町)の医師の家庭の長男として生まれました。1870年には、文部科学省による初の国費留学生としてアメリカに留学し、帰国後は、東京大学工学科教授も務めました。その後、国家的な鉄道施設をけん引し、日本初の工学博士を授与され、第二代鉄道庁長官に就任し、播但鉄道(現JR播但線)の敷設にも貢献されました。



### 松本荘一郎生家

中村・粟賀町歴史的景観形成地区(兵庫県景観形成条例)の銀の馬車道沿いに位置しており、昔ながらの宿場町の街並み景観の一つとなっています。  
一般公開 平日午前9～11時、午後1～3時(要予約)  
☎090-8533-9059



# 食と産業



日岡山公園の桜(加古川市)



世界の梅公園(たつの市)



ホタルの光(姫路市)



ひまわり畑(市川町)



カメラを持ってお出かけは、おもしろい！  
映える写真が撮れちゃうかも……？



**播磨の四季**  
豊かな自然と人々の生活が共存する播磨地域には、暮らしを彩る四季折々の美しい景色があります。  
一度は訪れたことがあるあの場所も、季節を変えてもう一度訪れてみると、姿を変えた新しい景色を楽しむことができます。



コスモス畑(稲美町)



砥峰高原のススキ(神河町)



好古園(姫路市)



朝霧(佐用町)





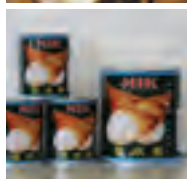
## かみがわちょう 姫路市・相生市・神河町 ユズ

10月～12月に旬を迎えるユズは、主に姫路市の安富町や相生市の小河地区、神河町で栽培され、ユズを使ったジャムやジュース、ゼリーなどが特産品として作られています。



## たいしちょう 姫路市・太子町 タケノコ

主に姫路市の太市や太子町の松尾で栽培されています。特に太市のタケノコは、「姿は山城(京都)、味は太市」といわれる質の高さが有名で、アクが少なく、みずみずしいのが特徴です。



## 播磨灘 前どれ魚

目の前の海で獲れるタイ、スズキ、メバル、カレイ、ヒラメ、エビなどを使ってさまざまな料理が作られます。新鮮な海の幸に恵まれた、播磨ならではの食文化です。



# 播磨 海のもの 山のもの

魚の宝庫・播磨灘で獲れる新鮮な海の幸。そして内陸部や山あいでも獲れる山の恵み。

播磨の豊かな自然に育まれた食文化が、今も暮らしに息づいています。

## かき 播磨灘 牡蠣

栄養が豊富で「海のミルク」ともいわれる牡蠣。播磨灘で獲れる牡蠣は、短期間で大きく成長するため、「一年牡蠣」と呼ばれます。殻いっぱい成長した身は大ぶりで食感が良く、播磨灘を代表する海産物の一つとなっています。



## 播磨灘 あなご 穴子

あかしかいきょう 明石海峡と播磨灘の潮流に育まれた播磨灘の穴子。特に身を開いて作られる焼き穴子は名産品としても有名です。



## ひめじし あいおいし いなみちょう 姫路市・相生市・稲美町 メロン

メロンは表面に網目ができるものと網目のないものに大きく分けられます。相生市の「矢野メロン」や、稲美町の「いなみ野メロン」は網目があり、姫路市の「網干メロン」は網目のない品種です。



網干メロン



いなみ野メロン



矢野メロン



播磨灘

## ハモ



ウナギに似た長い体とするどい歯が特徴的な魚です。あっさりとした白身の魚で、骨切りし、湯引きや天ぷら、しゃぶしゃぶなどに調理して食べられます。



播磨灘

## サバ・シャコ・ガザミ



播磨灘で獲れる海の幸には、マサバ(ぼうぜ鯖など)や、秋に旬を迎えるシャコ、ガザミ(ぼうぜがになど)があり、四季を通してさまざまな海産物を味わうことができます。



かみごおりちょう  
上郡町



## モロヘイヤ

カルシウムやカロテンなど、さまざまな栄養素が含まれている健康野菜。上郡町では、モロヘイヤをうどんに練り込んだ「円心モロどん」が作られています。



## 姫路市 レンコン

姫路市の大津区勘兵衛町で、イネに代わる作物として栽培されるようになったのがレンコンです。アクが少なく、シャキシャキとした食感が特徴です。



あこうし  
赤穂市



## ミカン

赤穂のミカンは実が小ぶりで、酸味が強く糖度も高いため、コクのある味が特徴です。秋にはミカン狩りも行われ、もぎたてを味わうことができます。



## 神河町 茶



神河町吉富地区では、約300年前から茶の栽培がさかんとなり、皇室と縁のある寺院に献上し、「仙霊茶」の名をいただきました。仙霊茶を使ったお菓子なども作られています。



## 姫路市・太子町 イチジク

主に姫路市や太子町で栽培されています。特に太子町で栽培される「太子いちじく」は県の認証食品で、厳しい品質検査に合格したものだけが出荷されています。



## 宍粟市・神河町・佐用町 自然薯

自然薯は、古くから寒い冬を乗り切るための栄養食とされてきました。強い粘りがあり、とろろご飯や天ぷら、磯部揚げなどに調理されます。



## 播磨灘 シラス

シラスとはカタクチイワシの稚魚のこと。干したものはチリメンジャコといひます。カルシウムが豊富に含まれ、夏から秋にかけて旬を迎えます。



## 姫路市・ 加古川市・ 宍粟市・ 佐用町 和牛

但馬の名産となっている但馬牛をルーツとして、姫路和牛、加古川和牛、宍粟牛など、各地域の環境によって独自のおいしさを持つ黒毛和牛が育てられています。



## 稲美町 スイートコーン・トマト・ キャベツ

稲美町は県下有数の野菜の産地で、50年以上前から栽培され、国の指定産地になっているキャベツをはじめ、トマトや甘みたっぷりのスイートコーンなどの栽培がさかんです。





## 姫路おでん 姫路市 ①

だしがしみ込んだおでんの具にしょうが醤油をかけて食べるのが姫路おでん。昭和初期から姫路の人々に親しまれてきた家庭の味です。



## ご当地 グルメ

## かつめし 加古川市 ②

叩いて平たくしたビーフカツをご飯の上のせてデミグラスソース系のタレをかけ、ゆでたキャベツをそえたもの。お箸で食べるのがポイントで、加古川市やその周辺で親まれています。



## ホルモン焼きうどん 佐用町 ③

古くから町の食堂などで提供されていたホルモン焼きうどん。たれをつけて食べるという独特の食べ方で、今も多くの人に愛されています。



## にくてん 高砂市 ④

うすくのばした生地に煮込んだじゃがいもやすじ肉、こんにやく、キャベツなどをのせて焼き、半分に折ってソースをかけて食べるのがにくてん。高砂風のお好み焼きです。



## 塩ラーメン 赤穂市 ⑤

古くから塩づくりが盛んな赤穂で、上質な塩を使って作られるラーメンです。お店によって異なるだしに赤穂の塩がマッチした、オリジナルの塩ラーメンが作られています。

## かしわもち 高砂市 ⑥



願いごとを一つ決めてお参りすれば叶う「一願成就」の神様が祭られる鹿嶋神社。神社の周りでは昔から良質のもち米がとれたため、かしわもちが作られて奉納されてきました。

## ゆで干し大根 稲美町 ⑦

ゆで干し大根は、稲美町母里地区の草谷に伝わる郷土食です。大根を棒状に切って干したものをせいろで蒸し、再び天日干することで、深い甘味が増していきます。



## かしわめし 市川町 ⑧

かしわめしとは、市川町産のかしわ(鶏肉)を使ったませご飯のこと。各家庭で鳥を飼っていたころは、町内で行事があるとかしわめしが振る舞われる慣習がありました。



## 播磨灘 ノリ 高砂市 ⑨

播磨灘はノリの養殖を行うための条件が整っており、全国的にも有数の産地となっています。海の中に浮き網を張って育て、12月には初摘みが行われます。



## 高砂市・宍粟市 ブルーベリー

高砂市・高御位山のふもとや宍粟市で栽培されています。またブルーベリーを使ったチーズケーキやジャム、アイスなども作られています。

## 姫路市・宍粟市・ たつの市・上郡町・佐用町

播磨を流れる揖保川・千種川などでは、古くから鮎漁がさかに行われていました。豊かな水と激しい川の流れによって身が引き締まった鮎は、さまざまな郷土料理に使われます。

## 加西市・佐用町 上郡町 ブドウ



種なしブドウの栽培技術をいち早く導入してきた加西市では、地域ブランドの加西ゴールデンベリー-Aをはじめ、ブラックビート、ピオーネ、藤稔、シャインマスカットなど多彩な品種が育てられています。佐用町でも「三日月高原ぶどう」として寒暖差を利用し、ぶどうが栽培されています。上郡町のブドウは産地直売が自慢です。

## 宍粟市 黒豆

古くから県内の特産物として有名な黒豆が「丹波黒」です。宍粟市では、豊かな自然の中で育った良質の黒豆が収穫されています。



## あゆ 鮎





# 醤油

龍野で醤油づくりが始まったのは戦国時代といわれています。地域を流れる揖保川の水質が醤油づくりに適していたこと、揖保川からの船便で京都や大阪に醤油を運べたことなどが、醤油づくりが発展した理由です。

江戸時代になって、醤油づくりの途中で甘酒を加えた「うすくち醤油」が発明されました。色がうすくち香りが良い独特の風味は、京都や大阪など関西を中心に好まれました。

たつの市にある、うすくち龍野醤油資料館では、昔の貴重な醤油づくりの道具を展示しており、醤油づくりの映像を見ることもできます。資料館の建物はアーチ形の窓が美しいルネサンス様式で、国の登録有形文化財に指定されています。



# メイドイン播磨

播磨には郷土色豊かな伝統産業が数多く存在します。

## 日本酒

播磨は日本酒づくりがさかんで「日本酒のふるさと」といわれます。

その理由は、1300年前の『播磨国風土記』に麴を使った日本酒のつくり方が初めて登場しているからです。また、酒米の王様山田錦が誕生したのも播磨です。山田錦は他の酒米に比べて粒が大きく、酒づくりに大切な心白(米の中心部)が大きいのが特徴です。山田錦を使ってつくられた日本酒は香りが良くまろやかな味わいになるため「最高級の酒米」といわれます。

また、播磨の気候風土は日本酒づくりに適しており、播磨五川(古加川、市川、夢前川、揖保川、干種川)と呼ばれる川の流域を中心に21の酒蔵があります。山田錦と豊富な川の水を使って、それぞれの蔵が個性を競い合いながら酒づくりをしています。このような播磨地域の歴史や酒文化が評価され、2020年3月に国が農作物や食品の地域ブランドを保護する地理的表示(GI)に「はりま」が指定されました。



# そうめん



太子町の斑鳩寺に残る室町時代の寺院日記「鯛庄引付」には「サウメン」の記述があり、播磨では約600年前からそうめんが食べられていたと考えられます。揖保川の水、播州平野の小麦、赤穂の塩と原材料に恵まれたために一大産地となり、江戸時代には龍野藩がそうめん製造と販売の許可を出していました。

明治時代にそうめん製造者が集まって組合を作り、「揖保乃糸」ブランドが誕生しました。

現在は、姫路市、たつの市、宍粟市、太子町、佐用町に組合員があり、手延べそうめんの生産量は全国トップを誇ります。品質にこだわり、贈り物としても愛され続けています。

たつの市にある揖保乃糸資料館「そうめんの里」では、手延べそうめんの歴史や製造工程などを多くの人に伝えています。



庭田神社

『播磨国風土記』と「庭田神社」  
奈良時代の『播磨国風土記』には「神様にお供えたご飯にカビが生えてきたので、それで酒をつくって神様にさし上げ宴をした」と書かれ、麴から酒をつくった日本で初めての記述とされています。この酒をつくった場所が宍粟市の庭田神社といわれ、播磨の各酒蔵は当時の製法を再現した「庭酒」をつくっています。

## かりんとう

「姫路駄菓子」として知られるかりんとうは、江戸時代から藩の支援を受けて作られていました。伝統を生かした懐かしい味が愛されています。



## イカナゴくぎ煮

2月下旬から3月上旬、播磨灘で水揚げされるイカナゴ。甘辛く炊いたイカナゴの茶色く曲がった姿がさびた釘に似ているので「くぎ煮」と呼ばれます。



## バジル製品

農薬の使用を最低限に抑え、有機質肥料のみで露地栽培された朝摘みバジルは、ドレッシングなど、様々な製品に加工されています。



## 味噌

佐用町特産の佐用もち大豆、佐用産の米、赤穂の塩だけで約10カ月間ゆっくり熟成した「もち大豆みそ」や太子町産の米と大豆を使った「太子みそ」など個性豊かな味噌が作られています。「太子みそ」を使ったみそコロッケ、太子みそ煮込みうどんなど地域グルメも開発されています。



## ソバ

姫路市夢前町や佐用町三日月などでソバが生産されています。そば畑が広がる夢前川沿いの県道を「夢そば街道」と名付けPRしています。



## 梅製品

綾部山梅林があるたつの市御津町では、青梅のほかに、梅干し、梅ジュース、梅ジャムなど、さまざまな梅製品がつくられています。



## 山椒醤油

山椒の実をすりつぶして醤油を加えた山椒醤油は、もとは夏にうなぎを焼くために各家庭で作られました。宍粟市波賀町の「道の駅みなみ波賀」で販売しています。



## 塩

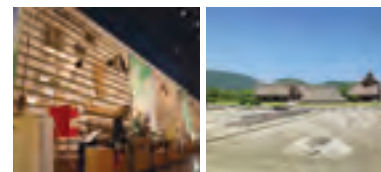
赤穂は古くから塩の産地として栄えてきました。塩は海水の水分を蒸発させてつくります。江戸時代には、海の潮の満ち引きを利用した入浜塩田という製塩法が完成され、その製法は瀬戸内地方に広く伝わりました。現在の赤穂市立民俗資料館は明治時代以降、旧大蔵省の塩務局(専売局)の庁舎として使われていたものです。

戦後は流下式塩田が主流になりました。傾斜をつけた地盤と竹の枝を組んだ房へ海水を流し、乾燥を促すことで濃度の濃い塩水を得る方法で、1970年頃まで続きました。

赤穂市立海洋科学館・塩の国では、昔からの塩田を再現しており、塩づくりの歴史を知ることができるほか、塩づくり体験をすることもできます。

赤穂で使われた製塩用具は、国の重要有形民俗文化財に指定されています。

令和元年5月に『日本第一』の塩を産したまち播州赤穂』が日本遺産に認定されました。



## かまぼこ



播磨灘に面し、魚介類が豊富に手に入る姫路では、古くからかまぼこやちくわ作りがさかんに行われています。瀬戸内海名物の穴子を使ったかまぼこ、蒸したものの、揚げたものなど、さまざまな種類があります。姫路市内にあるかまぼこメーカーでは、工場見学やかまぼこ作り体験をすることができます。

## もちむぎ<sup>めん</sup> 麺



もち麦は大麦の一種で、普通の麦よりもちもちした食感が特徴です。福岡町で生産したもち麦を、播州素麺の手延べ技法で仕上げたもちむぎ麺。うどんともそばとも違う独特の食感が愛されています。「もちむぎのやかた」では、製造のようすを見学したりもち麦料理を味わったりすることができます。

## 地場産業



くつした  
靴下

明治時代、志方町（現在の加古川市）の住民が中国の上海から手回しの編み機を持ち帰ったことから靴下製造が始まりました。技術の進歩や合成繊維を取り入れたことにより、兵庫県は東京都、奈良県と並ぶ日本三大産地に発展しました。



マッチ

明治初期に始まったマッチ生産は、貿易港がある大阪や神戸に近いため姫路地域で栄えました。現在も姫路市・太子町で全国の約9割を生産し、箱に宣伝などを印刷する広告マッチが人気です。



ひかく  
皮革

姫路や龍野地域は皮なめしに欠かせない川が近いために古くから皮革産業が発展し、現在も牛革の生産量は日本一です。最近ではレザーファッションショーやレザークラフト体験、皮革まつりなど、皮革製品に親しむ催しやPR活動を行っています。



アイアンヘッド

1930年、刀鍛冶の技術を活用してゴルフクラブのアイアンヘッドが日本で初めて市川町で製造されました。その後、アイアンヘッドの生産は姫路地域に広がり、播磨の地場産業として定着しました。姫路市、市川町には現在もゴルフ関連企業が数多くあります。



くさり  
鎖

姫路では江戸時代から釘づくりが発達しており、大正時代に鎖づくりへと発展しました。船の錨をつなぐ鎖からネックレスのチェーンまで、鎖の大きさや使い方はさまざまです。全国で生産される鎖の6割が姫路でつくられています。



にかわ・ゼラチン

にかわやゼラチンは、牛や豚など動物の皮や骨を原料とする天然の接着剤です。にかわは文化財の修復や絵画など、ゼラチンは食用や医療用にも使われます。姫路や龍野地域で皮革産業がさかんなために産地となりました。



ひめじがんぐ  
姫路玩具

姫路張子は、不要になった和紙（反故紙）が豊富にあった城下町の姫路で作られた、張り子のお面や人形。姫路独楽も幕末から明治にかけて作られた美しい民芸品です。



## 伝統工芸品



みょうちんひばし  
明珍火箸

江戸時代後期、甲冑師の家柄である明珍家が茶室用の火箸を作ったことが始まりです。火箸の型は20種類以上あります。火箸が触れ合ったときに澄んだ美しい音がすることから、近年、風鈴として利用されています。



ひめかわざいく  
姫革細工

姫路の伝統的な革細工は、上質の牛皮を白く柔らかく加工した革に、模様を型押しし、一つ一つで絵付けをして、うるしなどで仕上げたもので、独特のしぼの風合いが美しく、使うほどに味わいが増していきます。財布やかばんなどが作られています。



あこうだんじゅう  
赤穂緞通

赤穂の女性、児島ながが江戸時代末期に始めた手織りの敷物です。美しい模様が特徴で皇室や高級料亭にも好まれてきましたが、戦後は機械化の波に取り残され衰退しました。平成になって再び技術の保存や普及に取り組んでいます。



くにかねたてぐ  
国包建具

加古川市の国包地区は、江戸時代に加古川を使った舟運の寄港地でした。そのため多くの木材が集まり、建具づくりが始まりました。緻密な細工を施したデザインが特徴で、中でも釘を使わない「組子」という技術では職人の技が光ります。



たつやまいし  
竜山石

高砂市宝殿山あたりで採れる石を竜山石といいます。この石は加工しやすいため、建築や造園の石材として古くから使われています。石色は青・黄・赤の3色があります。

